

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	草笛学園		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもが安心感や楽しみをもって通園していると思います。	・子どもの発達や興味関心に合わせて、楽しめるように工夫しています。また、活動の振り返りをし、遊びを展開したり、新たな設定をおこなっています。	・研修や他施設との実践交流会、学習会などに積極的に参加し、職員の資質向上に取り組んでいます。
2	・家族支援として、日頃から保護者とこどもの状況を互いに伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解に努めていること。また、定期的に、面談や子育てに関することの相談する機会を設けています。	・前期・後期(年2回)個人懇談やクラス懇談を実施しています。また、年2回の親子教室では、午前は子どもと活動を共にし、午後からは、関わり方や成長の共有、取り組みについて、保護者の方の悩みについてなどのお話をする機会を設けています。 ・園バスでの送迎のため、保護者の方と直接お話ができる機会は少ないが、子どもの様子や変化、取り組みについて、行動の意味付けなど、クラスだよりやグループだより、年長だより、個別のおたよりなどでお伝えし、保護者の方と共通理解に努めています。	・保護者支援は子どもを支援すると同時に大切な事柄と考えています。おたよりや懇談、親子教室、研修会を通して、共通理解が持てるよう取り組み、保護者の支援につなげていきます。
3	・子どもの活動のスペースが確保できています。また、自然が多い環境の中でのびのびと過ごせていると思います。	・活動スペースはある程度の空間が確保されています。活動によって、部屋の使い方を工夫するようにしています。 ・散歩では、山登りや近所の神社に出かけるなど、自然や地域の方とふれあうことができています。	・今後も活動スペースや戸外活動など確保しながら子どもたちの成長を促していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい同士の交流の機会が設けられていないなど、きょうだいへの支援が十分にできていません。	・以前は運動会で兄弟児の参加する競技があったり、家族参観日に一緒に来園したりしていましたが、コロナ禍から、参加人数の制限を行ったり、就労されている保護者の方が年々増加し、行事のあり方や目的を見直し整理をおこなっています。	・子どもの成長や発達の基盤となる親子関係や家庭生活を安定させることが、こどもの「育ち」や「暮らし」の安定や充実につながることを意識し、保護者だけでなく、きょうだいも参加できるような行事も考えていきたいです。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会が設けられていません。	・近隣の保育所との直接的な交流についての話ができていませんでした。	・理解し合いながら暮らせる社会を目指していけるように、地域の子どもたちとの交流は必要な事だと感じている。どのように交流するか、一緒に活動できる内容を具体的に考えていきたいです。
3	・安全計画や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等作成していますが、保護者への周知が十分にできていません。	・各マニュアルを所定の位置(相談室前)に閲覧できるように設置していますが、設置していることの周知が不十分だったと思います。	・閲覧できるように設置していることを事務所だよりなどで周知していきます。また、設置していることが分かるように所定の位置にマニュアルがあることを掲示するなど工夫していきます。併せて、マニュアルの見直しもおこなっていきます。